

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	本巣市立真桑小学校		
実 施 期 間	平成26年10月25日(土)、11月28日(金)		
実 施 概 要	① 学習成果発表会 10月25日は、「まくわっ交流会」を開催し、合唱、合奏、真桑文楽等の発表を保護者や地域の方々にご覧いただいた。 ②地域公開(研究成果中間公表会) 11月28日は、教科等教育活動を地域に広く公開し、自由に参観をしていただいた。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	650 人	計 750 人
	地 域 関 係 者	100 人	
実 施 状 況	(1) 10月25日の主な実施内容 「まくわっ交流会」の開催 【1年生～5年生】～合唱や合奏の発表～ ・「芸術の秋」にふさわしく学年別に合唱や合奏の音楽発表を行った。この日までに、音楽の授業で学習した曲や「朝の歌」で日常的に取り組んできた曲について学級や学年で練習を積み重ね、他学年の児童、保護者、地域の方々の前で発表した。 【6年生】～真桑文楽とミュージカルの発表～ ・真桑地区の伝統芸能である真桑文楽を自分たちで上演できるよう地域の方々にご指導いただきながら、三味線の伴奏、語り、人形の操作等を継続的に練習し発表した。文楽のストーリーを参観者により理解してもらうために語りのセリフをステージ上方の幕に投影して示したり、上演前に真桑文楽の概要を説明したりといった工夫も見られた。また、真桑地区にまつわる民話を劇化し、ミュージカル仕立てで創り上げる音楽劇も併せて上演した。役者、楽器演奏者、合唱隊、大道具づくりに分かれて練習・準備に取り組み、この日に真桑文楽同様に後輩や保護者、地域の方々に披露した。 (2) 11月28日の主な実施内容 ・各学年1学級ずつ国語科、外国語活動・英語活動の授業及び特別支援教育の授業公開を行った。課題に対して自分なりの考えをもち、その考えを伝え合う中で学び合いのよさを実感し、お互いに関わり合って学ぶことができる授業を目指して4月より授業を通して積み重ねてきた実践研究の一端を地域の方に見ていただいた。		
成 果 及 び 課 題	○中学校区の学校関係者評価委員や本校の学校評議員、民生児童委員のみなさまに両日ともご参観いただいた。さらに地域公開では自治会長のみなさまにもご参観いただき、児童の姿を通して本校の教育活動について評価をいただくことができたと考えている。 ○保護者からは「子どもたちの一生懸命な歌声を聞いていると本当に心が洗われます。今年も心がほんわかできた『まくわっ交流会』でした。これも先生方や地域の方々のご指導があったからこそです。ありがとうございます。」(一部抜粋)といった感想をいただいた。子どもたちの成長を感じながら、真剣に発表に聞き入る様子が見られた。学年の発表が終わるたびに参観者からの大きな拍手をいただいた。本校の教育活動に対する十分な理解とともに信頼も得ることができたと考えている。		